

CASBEE神戸ver.3

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築（新築）2016年版 | 使用評価ソフト：CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ラスイトルパンビル 新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県神戸市中央区新港町90番1.90	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	880人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、ホテル、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2023年6月13日
敷地面積	27,661 m ²	作成者	阪口 俊夫
延床面積	1,687 m ²	確認日	
延床面積	5,449 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 69% (127 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 69% (127 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 69% (127 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 3.0	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 2.6	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 2.0
配慮の概要 0	配慮の概要 0	配慮の概要 0
その他の配慮事項 0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新)
ラスイートルパビル 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築
■評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.5
Q1 室内環境							0.39		-	2.5
1 音環境						2.1	0.15	1.8	1.00	2.1
1.1 室内騒音レベル						1.0	0.40	1.0	0.40	
1.2 遮音						3.8	0.40	2.2	0.40	
1 開口部遮音性能		(共通)遮音性:T-2				5.0	0.72	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						1.0	0.28	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	1.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境						2.0	0.35	1.8	1.00	2.0
2.1 室温制御						1.9	0.50	1.4	0.50	
1 室温						1.0	0.45	1.0	0.57	
2 外皮性能		(共通)レベル1と3の中間値の為、レベル2で評価				2.0	0.20	2.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.35	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
3.1 昼光利用						3.5	0.69	4.2	0.30	
1 昼光率		(建物全体)昼光率:2.5%以上 (宿泊部)昼光率:1.25%以上				5.0	0.25	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.75	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						2.0	0.13	3.0	0.30	
1 昼光制御		(建物全体)庇による制御 (宿泊部)カーテンレール設置				2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						1.0	0.06	1.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.12	3.0	0.25	
4 空気質環境						2.9	0.25	3.8	1.00	2.9
4.1 発生源対策						4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		(共通)F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						2.0	0.30	3.6	0.38	
1 換気量		(宿泊部)建築基準法の1.4倍以上の換気量を確保				3.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能		(宿泊部)自然換気有効開口面積:居室床面積の1/10以上				-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理						1.7	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.36	-	-	
2 喫煙の制御						1.0	0.64	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.0
1 機能性						3.0	0.40	2.2	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	2.0	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	3.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応						-	-	1.0	0.50	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						2.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観		(建物全体)天井高3.3m以上 (宿泊部)天井高2.5m以上				4.0	0.35	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						1.0	0.65	1.0	0.50	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		評価項目:8箇所				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		評価項目:7箇所				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		マニュアル末尾「参考表」内壁・複層仕上げ塗材の数値(10年)で評価				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途上位3種全てにB種を採用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		セントラル空調無し				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.3	0.30	2.8	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			4.6	0.22	2.6	0.50	
1	階高のゆとり	(建物全体)平均階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	(建物全体)壁長さ比率:0.20	4.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.22	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.57	-	-	
1	空調配管の更新性	セントラル空調無し	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.31	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
1)都市景観形成地域及び眺望景観形成地域内							
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3)敷地内に足湯を計画 5)入口付近にアルコーブを計画							
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
IV 1)屋上緑化はあるが、人の出入口が不明の為未評価とする							
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			5.0	0.50	-	-	5.0
[BEI][BEIm] = 0.63							
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1	材料使用量の削減	プレストレストコンクリートの採用	3.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	舗装材・断熱材	4.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			4.2	0.33	-	-	4.2
LCCO2:69%							
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音	規制対象外建築物	3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明無し	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	